

実践事例演習 I

事前課題「理論を言語化する」

ワークブックⅡ掲載（p18～21）の事例を読み、社会福祉士を目指している学生に、「3つの事例それぞれについて、ソーシャルワーカーの機能と実践のために活用されているモデルやアプローチ」を説明するためのレジюмеを作成してください。

参照文献：基礎研修テキスト（上）P12～P123

（※下線部分と以下の枠内が、ワークブック p18 の事前課題との変更箇所です）

- レジюмеは、3つの事例をA4用紙1枚～2枚で配布用資料としてまとめてください。
レジюмеの先頭に、受講者番号、受講者氏名を必ず記載ください。
（指定の書式はありません）
- レジюмеの内容は15分で発表できるようにまとめてください。
なお、発表においてプロジェクター等の機材は使用できません。
「理論を言語化する」のが本演習のテーマですので、ご自身のまとめ方でレジюмеを作成してください。そのため、学生に質問し学生が説明するだけのまとめ方は、課題の意図に合いません。
- レジюмеは7部準備してご持参ください。（グループメンバー用と講師用です。
講師用の1部は、受付で提出してください。）
- 事前課題の提出がない場合は、講義の出席は認められません。

◎事前課題の提出のお願い

- ・提出締切： 2024年6月21日(金)
- ・提出先：kensyu-kadai@hacsw.or.jp
 - ★件名に「基礎Ⅱ6月21日提出課題」とご記入ください。
 - ★添付する課題には、必ず受講者番号・お名前をご記載ください。
 - ★課題を作成する際に、ファイル名は「受講者番号+お名前」としてください。
入力例：受講者番号2024201福祉太郎さんが課題を提出する場合
「2024201福祉太郎」と入力してください。

集合研修4「実践事例演習」(研修③)では、実際にレジюмеを使用してグループ内で発表していただきます。当日までに作成したレジюмеを使用して内容が説明できるようにしておいてください。